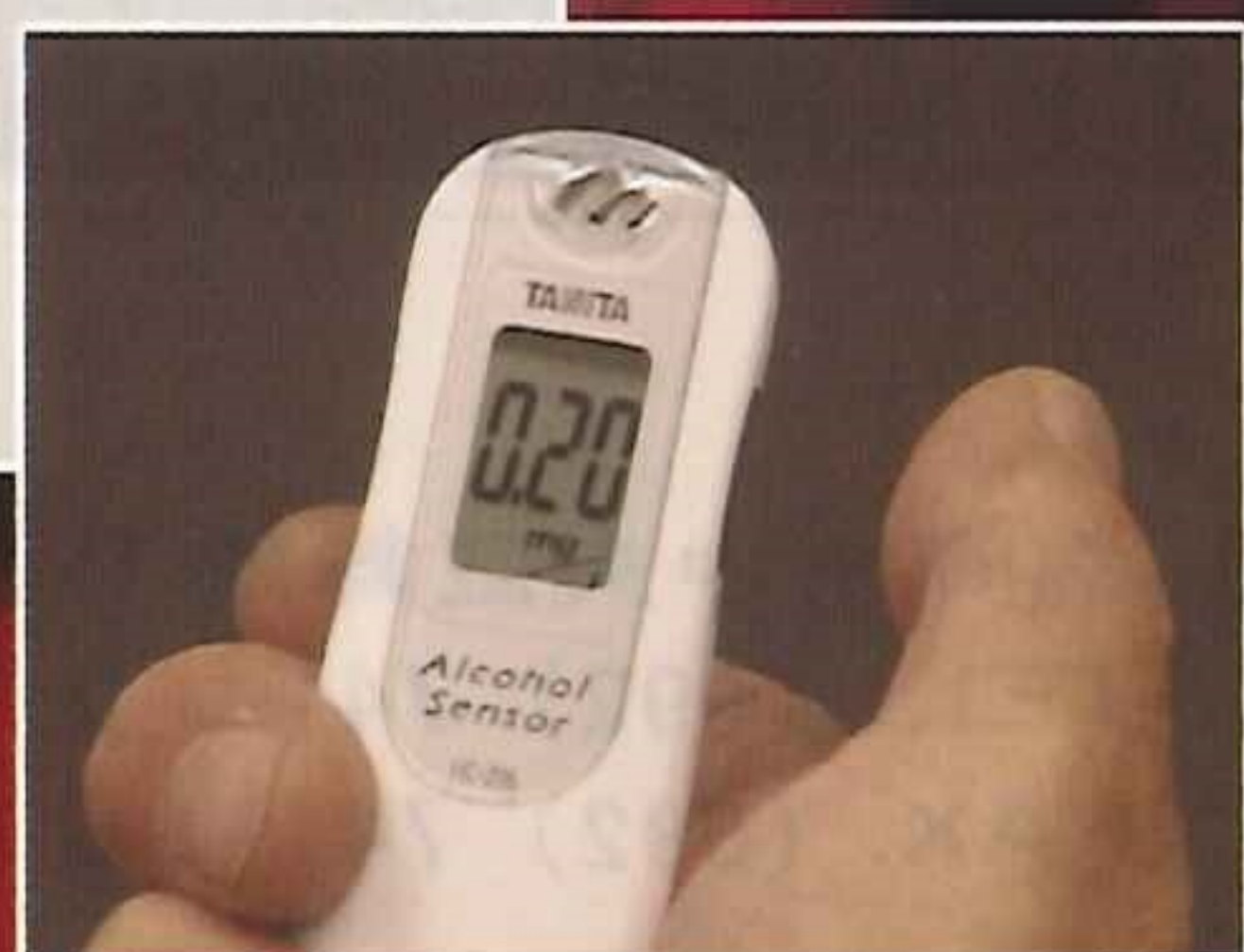
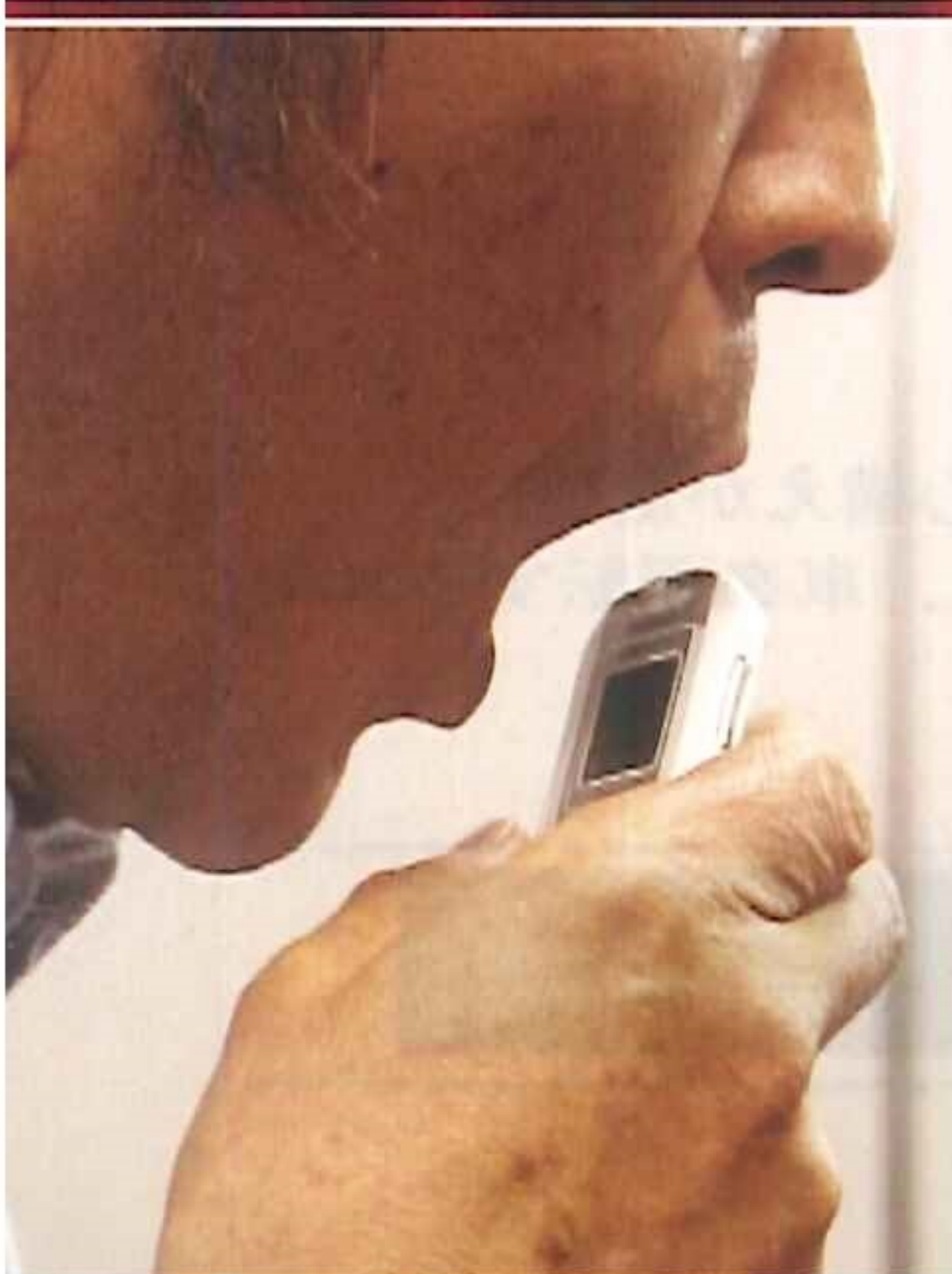


改正道路交通法準拠

推薦 (財) 全日本交通安全協会

許すな! 飲酒運転



反応時間のちがい



許すな! 飲酒運転

制作意図

平成13年、「危険運転致死傷罪」が新設され、道路交通法も改正、飲酒運転に対する罰則が強化されました。しかし、その後も悪質な飲酒運転による事故は後を絶ちません。そして平成18年福岡で起きた大上さん一家の悲惨な事故をきっかけに、平成19年には、新たに「自動車運転過失致死傷罪」が新設されるとともに、道路交通法も再度改正され飲酒運転に対する罰則はより一層厳しいものとなりました。そこでこのビデオでは改正道路交通法の概要を分かり易く解説。ならびに、飲酒が運転に与える影響をドライビングシュミレーターで検証。また専門の医師に、アルコールが運転にどのような影響を及ぼすか、データを基に医学的立場から解説してもらい、飲酒運転が如何に危険であり、絶対にしてはならないということを、すべてのドライバー、市民に訴えます。

映画の内容

■繰り返される悲劇

★海中から吊り上げられるRV車

平成18年8月福岡市東区の「海の中道大橋」で家族5人が乗ったRV車が飲酒運転の乗用車に追突され、海に転落。幼い3人の命が奪われた。

飲酒は、車の運転にどのような影響をおよぼすのだろうか・・・

■脳の機能を麻痺させるアルコール・・・反応テストと医師による解説

ドライビングシュミレーターによる反応テストと、「国立久里浜アルコール症センター」の専門家による医学的立場からの解説。

■飲酒運転厳罰化の背景

平成13年、「危険運転致死傷罪」が新設され飲酒運転は過失ではなく故意犯として罰せられることになり、道路交通法も改正され、飲酒運転に対する罰則が強化された。

◎東名高速道路で飲酒運転の大型トラックに追突され、愛娘2人の命を奪われた井上さんのインタビュー。
しかし、その後も悪質な飲酒運転事故は後を絶たない。そこに今回の福岡での事故。この事故をきっかけに飲酒運転に対する罰則強化を求める世論が高まり、再度道路交通法が改正され、飲酒運転に対する罰則が一層厳しいものとなった。

■改正道路交通法の概要 〈飲酒運転に対する厳罰化〉

I ★飲酒運転に対する制裁の強化

☆酒酔い運転・酒気帯び運転

☆飲酒検知検査拒否

※今回の道路交通法の改正の二つのポイント

II ★救護義務違反（ひき逃げ）・・・量刑が2倍に!

◎飲酒・ひき逃げにより家族を奪われた被害者、岩崎さんのインタビュー。

III ★飲酒運転者の周辺者に対する制裁の強化

☆車両提供

☆酒類提供

☆同乗（要求・依頼）

■許すな! 飲酒運転・・・飲酒運転の根絶に向けて

飲酒運転に甘い風土の日本。この体質を変えるには国民ひとりひとりの日ごろの心構えが重要だ。

お酒を飲んだら車を運転しない。お酒を飲んだ人に車を運転させない。飲食店は、車を運転する人にはお酒を出さない。

尊い命を守るために。

配給

(映)

有限
会社

博映商事

〒810-0073 福岡市中央区舞鶴1丁目3番31-220号

TEL. (092) 741-0306 (代表)

FAX. (092) 741-6628